

# 学習課題（小学校4年生）



## 【理科】

＜学習内容＞「自然のなかの水のすがた」

◆「自然のなかの水のすがた」（教科書 100～106 ページ）について、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 教科書 100～101 ページを見ながら、ほす前とほした後のタオルの重さをくらべてみましょう。  
※ほす前とほした後のタオルの重さをはかって、くらべてみましょう。  
※ほす前にぬれていたタオルの水は、どこに行ったのかな。
- (2) 教科書 103～104 ページ「実験 1」を学習して、水が空気中に出ていくのか考えましょう。
  - ①二つのコップなどを用意して、同じ量の水を入れ、一方にラップシートなどのおおいをして、日当たりのよい場所に 3～4 日置いて、水の量をくらべましょう。  
※二つの水の量にちがいはあるかな。  
※おおいをしてラップシートの内がわの様子は、どのようになっているかな。  
※へった水は、どこに行ったのだろうか。
  - ②教科書 104 ページを見ながら、「実験 1」の結果をまとめ、水が空気中に出ていくか考えましょう。
- (3) 教科書 105～106 ページ「観察 1」を学習して、水はふたたび目に見えるすがたにもどるのか考えましょう。
  - ①冷ぞう庫の中でよく冷やした空のコップを外に出して、コップの表面の様子を観察しましょう。  
※コップの表面をくわしく見てみましょう。  
※冷ぞう庫に入れていない他のコップの表面は、どうでしょうか。
  - ②教科書 106 ページを見ながら、「観察 1」をまとめ、空気中の目に見えない水について考えましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、水が空気中に出ていくと見えなくなることや、空気中の水の存在に気付くことを大切にしています。
- ・「水は、どこに行ったのかな。」「この水は、どこから出てきたのかな」などと、空気中の水の存在に気付けるように声をかけてください。